

# YATOかわら版

500年の  
Commonを  
考える



YATO

第5号 2021年2月

発行

YATOプロジェクト事務局

東京都町田市忠生2-5-3

<https://yato500.net>

## ただお 忠生のはなし

### 記憶に残らないこと

話を聞いた人、成瀬くりの家保育園 園長 早川朝子先生 (57歳)

みなさんは、小学校に入る前の記憶はありますか？ 私は、忠生の幼稚園に行くバスを、お友だちと待っていたことが、楽しい記憶として残っています。バスに乗るのがとっても嬉しかったんでしょね。バスの中で立っている先生の姿に憧れて、自動車の中で真似をして遊んだことも覚えていきます。

私は、冬至の日に柚子をいれたお風呂に入ったりす



柚子

る、自然を感じる行事が大好きなんです。記憶はないんですけど、あとから母に聞いたら、通っていた幼稚園のまわりは自然が豊かで、子供の日には菖蒲の葉、七夕には笹、冬至の日には柚子を配るなど、四季にあわせた日本の伝統行事をやっていたそうなんです。きっと、先生たちが一つひとつ丁寧に教えてくださったんでしょね。今、私が保育園の先生をやっているのも、そうやってやさしくしてもらったことが、今につながっているんだと思います。

大きくなった時に、はっきりと記憶に残ってはいないけれど、「懐かしいな」とか、「この匂いが好きだ」とか、「なんかほっ



菖蒲の葉

「YATO」プロジェクトは、谷状の地形から「谷戸」とよばれる、忠生周辺地域のことを学び、500年先に生きる人たちにどう伝えていくかを考えるプロジェクトです。

とする」って思えるものがあるって、とても大事なことです。だからみなさんも、そういう経験をたくさんしてほしいなと思います。

みなさんの今は、今しかないんですね。だから、毎日を大事にしなきゃって思っています。今日一日、今ここを大事に生きていきたいなと思います。



絵：齋藤絃良さん

# わたせもふろう

しゃしんぶん はたのしゅうへい  
写真・文：波田野州平



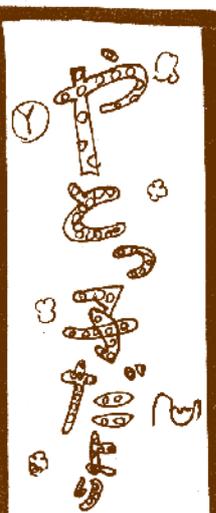
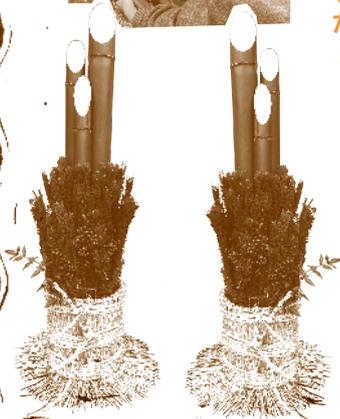
近道  
ちかみち

向こう側へ行くのに、回り道せず、まっすぐ通れたいのになど思ったことはないですか？ 昔の人も同じことを考えて、山を削って、

まちへとつつ切る近道をつくりました。その近道は、「関屋の切り通し」と呼ばれています。よく見ると、昔の人が削った跡が見えますよ。

## プロジェクトレポート YATOの年の瀬日記

年末に、築田寺のお餅つきにあわせてみんなでゆるやかに語りあう行事「YATOの年の瀬」。2020年はYATOメンバーが今年の活動を振り返ってお話をする様子を、インスタグラムで配信しました。そして、最後はみんなでお寺の門にかざる、大きな門松を制作。笑顔で一年をしめくくりました！



ただお・町田周辺に暮らす小学生チーム「やとつ子同盟」。アーティストや年長者といろんなものをつくりながら、忠生の歴史や文化に触れる、遊びと学びの場です。

2月20日(土)は、築田寺の山野草でつくったお香や、家の中にあるものを使って、匂いで遊ぶワークショップ「いきかよふYATO香」(オンライン)をやります。興味がある人は、ぜひ申し込んでね！

やとつ子同盟ワークショップ  
「いきかよふYATO香」  
開催日時：2021年2月20日(土)  
料金：無料  
参加方法：HPから申し込み  
<https://yatosoo.net>

